

「(様式第4号)

## 上田城南地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田城南地域協議会
2 日時	令和3年6月17日 午前10時00分から正午まで
3 会場	城南公民館 1階 大ホール
4 出席者	相田委員、市川委員、小林委員、櫻井委員、竹内委員、田玉委員、田中委員、西入委員、増澤委員、松田委員、宮坂委員、宮澤委員、安江委員、柳澤委員、山岸委員、横山委員、若林委員、渡辺里香委員
5 市側出席者	【事務局】滝澤城南地域振興政策幹、片山地域内分権推進担当係長、滝沢地域内分権推進担当主査、芳池地域内分権推進担当主事 【商工課】酒井商工課長、上原主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年6月22日

### 協議事項等

#### 次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項

城南地域の課題について

各部会協議「防災」「高齢者福祉」「産業振興」

部会ごとに分かれて意見交換

#### 「防災部会」

委員から以下の内容について説明

- ・中村自治会における災害時の要援護者システムと情報伝達システムをどう構築するかについて
- ・御所自治会の住民支え合いマップの更新がスムーズに行われる仕組みの構築について
- ・千曲町自治会と西部地域まちづくり協議会の取組の紹介

#### 「高齢者福祉部会」

提言内容についての具体的協議

以下、委員からの主な意見

- ・具体的な内容に「認知症」についても付加したい。
- ・予防が大切。この重要性を周知する啓蒙活動が必須である。
- ・実際の介護状態がどのような事かを知らないと予防につながらない。
- ・サービスを有償とすることによって、スタッフのモチベーションもあがるのはもちろん、参加者側にとっても参加継続の動機付けとなる。
- ・広報活動は行政・自治会が連携すると効果的ではないか。
- ・事業を行うにあたり、行政等の窓口が多岐に渡っていてわかりにくい。
- ・介護予防に取り組んだことによる効果・結果は検証されているのか。

#### 「産業振興部会」

商工課からの説明、意見交換

以下、委員からの主な意見

- ・商工振興会自体の連携がなくなってきていて、横の繋がりも全くなく、希薄になっている。
- ・地元企業に対する支援があまりないように感じる。商工振興会も衰退してきてしまっている中で、地域企業を支援するのは限界がある。地域の支援を行政と開発して仕組み作りや、産業振興に予算立てはできないか。
- ・企業と消費者のマッチングをさせるところから始める必要がある。
- ・各自治会の手承が必要になるが、回覧板を使用してお店の情報を伝えることも、ひとつの手段である。制限を設けるなどして、そのような仕組みを作るのもよいのではないか。

#### 4 その他

##### (1) 市民参加・協働推進課より

(事務局)次回、7月の地域協議会にて、上田地域における地域協議会の設置単位の見直しについての正式な意見聴取をお願いしたい。

3部会で取り組んでいる調査研究について、1月20日の午後に市長への提言書手交式を行う予定。今後のスケジュールとしては、11月には意見書(案)を完成させ、12月に上田城南地域協議会の中で部会ごと発表のうえ、手交式へ向けて意見書が完成するよう、部会長をはじめ皆さんで進めてほしい。

##### (2) 次回の開催予定

日時 7月15日(木) 午前10時から

場所 城南公民館 大ホール

#### 5 閉会